

<p>ターフェルムジーク・ウィンドオーケストラ 〈吹奏楽〉</p>	<p>中央区を拠点に活動する吹奏楽団です。毎週日曜日に大戸公民館や鈴谷公民館で練習しています。楽団名は、ドイツ語で“音楽の食卓”という意味で、幅広い音楽のジャンルを気軽に聴いてもらいたい、という気持ちで込められています。地域に愛される楽団を目指し、大戸氷川神社の夏祭りや公民館まつり、自治会のお祭りなどでも演奏をしています。2015年6月14日(日)には、定期演奏会「第8回夕暮れコンサート」をプラザノースで開催します。</p> <p>🎵 曲目 キャラバンの到着 他</p>
<p>リコーダーアンサンブル コロパレット 〈リコーダーアンサンブル〉</p>	<p>「ゆるく楽しくアンサンブル」を合言葉に結成したリコーダーが大好きな4人組。時代、ジャンル、アレンジを問わず広く楽しんでいます。「コロパレット」とは「カラーパレット」のイタリア語。4人の音色を重ね素敵な音楽をお届けできると嬉しいです。</p> <p>🎵 曲目 テレマン協奏曲第一楽章、おもちゃの兵隊の行進、待ちぼうけ、愛のあいさつ</p>
<p>UNITED SOUL REUNION 〈演奏〉</p>	<p>「カッコいい大人のロック」をコンセプトに、関東を中心に精力的に活動しているロックバンド。数々のメジャーアーティストとも積極的に共演、世界最大規模のコンテストライブ「EMERGENZA JAPAN2015」にて準決勝進出を果たす。3/14に1stアルバム「Dark Light」のリリースを記念し、赤坂CROWFISHにてワンマンライブを行います。今回は、アコースティック形態で代表3人で演奏します。</p> <p>🎵 曲目 名のなき花</p>
<p>ザッツサクソフォン フィルハーモニー 〈サクソフォンアンサンブル〉</p>	<p>学生から社会人までサクソフォンを愛してやまないメンバーで、サクソフォンアンサンブルによる音楽表現を探求しています。4/11に曳舟文化センターにて定期演奏会を開催します。</p> <p>🎵 曲目 C.Mジェーンベルク作曲 レ・ミゼラブルセレクション</p>
<p>ばらの町フルートアンサンブル 〈フルートアンサンブル〉</p>	<p>与野本町駅近くの公共施設で練習しているアマチュアのフルートアンサンブルの団体です。普通のフルートのほかにアルト、バス、コントラバスフルート、といった低音楽器も使って厚みのあるサウンドを楽しんでいます。</p> <p>🎵 曲目 ドヴォルザーク 弦楽セレナード第一楽章 ヘンデル 歌劇「リナルド」より「涙の流れるままに」</p>
<p>コーラスベルエコー 〈合唱〉</p>	<p>“コーラスベルエコー”は1982年、鈴谷小学校のPTAコーラス部として出発しました。鈴谷に絆(こだま)する美しいハーモニーをイメージし名付けました。普段の活動の主なもの、県の合唱祭、お母さんコーラス大会、与野音楽連盟行事、ホームのボランティアなどです。</p> <p>🎵 曲目 皇帝円舞曲</p>
<p>サクラボーンズ 〈トロンボーンアンサンブル〉</p>	<p>活動7年目に突入のトロンボーングループです。ジャンルを問わない演奏は技巧よりも年の功。皆さんの笑顔が何にも代えがたい元気の秘薬です。嬉しいひとときをお届けできる演奏を目指します。</p> <p>🎵 曲目 Alone Again 他</p>
<p>Etela 〈ピアノ連弾とドラムのアンサンブル〉</p>	<p>与野南小、南中出身の3人が音大を卒業してから結成したグループです。グループ名の「Etela」は「南の」のフィンランド語。私たちそれぞれの特技を生かしてピアノ連弾とドラムという他にはない新しいアンサンブルに取り組んでいます。「聴いている人に楽しんでもらいたい」という思いから、「J-POPなど誰もが聴いたことのある曲を中心に演奏しています。ぜひ楽しんでお聴き下さい。</p> <p>🎵 曲目 銀河鉄道999、情熱大陸</p>

ゲスト

ピアニスト 森田義史



公式HP www.yoshifumimorita.com

Profile

熊谷市出身。3歳より「スズキメソッド」にて音楽に触れ、7歳から日本を代表するピアニスト岩崎淑氏のもと、ピアニストとしての道を志す。9歳でベートーヴェンの「熱情」を演奏し、スズキメソッド全課程を修了。桐朋学園大学音楽学部を卒業。卒業時に、東京文化会館にてデビューリサイタルを行う。2006年より(財)ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生としてイタリア・ミラノに渡り国立ヴェルディ音楽院に入学。名教授Vincenzo Balzani氏に師事し、「カントゥ国際」「ヴァルセリア・ムジカ国際」2つの権威ある国際ピアノコンクールにて優勝するなど輝かしい実績を積み、音楽院最高のピアニストとしてイタリア全土の様々な演奏会で活躍した。ロシアの大作作曲家セルゲイ・ラフマニノフに造詣が深く、彼の演奏するピアノ協奏曲第3番はイタリアの新聞に取り上げられ、「難解な技巧面を苦も無く弾きこなすテクニクの持ち主」「まるでコンピュータの如く緻密に計算された構成力。そしてその中に秘められた豊富な抒情性」と評された。現在はミラノと日本に拠点を置き、師であるBalzani氏の正式な助手としてコンサートやオーディションの企画、コンクールの審査員を務める他、講師としてマスタークラスにも招聘されるなど教育の分野にも力を注いでいる。演奏会では、留学生活やイタリアの食、音楽、そしてピアノや様々な楽器の歴史など様々なトークを交え、各方面で好評を得ている。2015年4月にチェコ出身のチェリストであるヴァーツラフ・アダミール氏を迎えてのリサイタルをさいたま芸術劇場で開催予定。イタリアで開催される“Concorso pianotalents”(6月)、“Valsesia-musica”(9月)、2つの国際ピアノコンクールの審査員として招聘される事が決まっている。

🎵 曲目 イタリアン・カンツォーネ、リベルタンゴ 他

ゲスト&出演者全員でフィナーレ

🎵 曲目 野ばら